



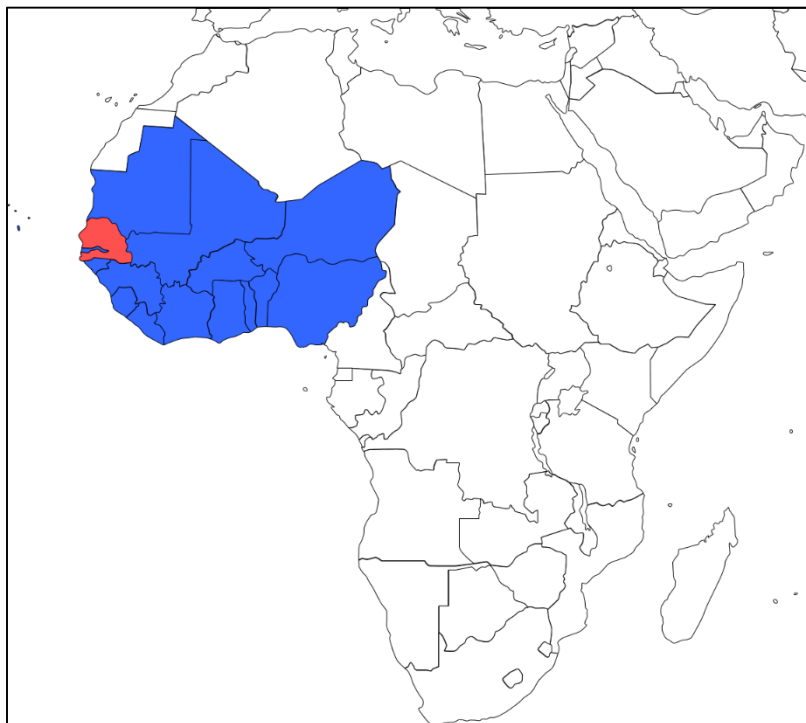
【第1回】 西アフリカの主要国、セネガル共和国

皆様こんにちは。セネガルの首都ダカール在住、アフリカ商会の山田と申します。この連載では、日本ではなかなか手に入らない**セネガルの情報を、セネガル現地よりお届け**いたします。この連載が、セネガル、ひいては西アフリカに興味を持つきっかけとなり、日本企業の西アフリカ進出が少しでも増えたら誠に幸いです。これから何卒よろしくお願い申し上げます。まず本日は、西アフリカとセネガル共和国について記します。

西アフリカとはどこか

まずは、地図で西アフリカを見てみましょう。西アフリカは青色の国々、セネガルは赤色の所です。国際連合は、西アフリカを以下の**16か国**と定めています。

ベナン、ブルキナファソ、カーボヴェルデ、コートジボワール、ガンビア、ガーナ、ギニア、ギニアビサウ、リベリア、マリ、モーリタニア、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、シエラレオネ、トーゴ（出典：United Nations Statistics Division <http://unstats.un.org/unsd/methods/m49/m49regin.htm>）



【この連載について】

日本企業のアフリカビジネス支援を行う筆者が、西アフリカの主要国セネガルについて記す連載。
セネガルでのビジネスのヒントとなるさまざまな情報を提供する。

ビジネスのラストフロンティアとして注目を浴びているアフリカ。アフリカでのビジネスは、先進国と異なり1国当たりの市場規模が小さいことから、地理・言語・治安などを考慮し**地域展開の戦略を練る事が重要**です。ケニアのある東部、南アフリカのある南部、エジプトのある北部には、多くの世界的大企業はもちろんですが、実は数十年以上も前から、同じアジアのインド企業、そして中国企業も積極的にアフリカに進出しています。最近では、日本企業もアフリカ進出に積極的な姿勢を見せ始めています。

ですが、そんなアフリカの中でも、**企業の進出が比較的進んでいない**ため日本にもチャンスがあり、かつアフリカ1のGDPを誇るナイジェリアを有する**大きなポテンシャル**を秘めた地域があります。それが**西アフリカ**です。

EUのような共同体を持つ西アフリカ、ハブの役割を果たすセネガル

西アフリカには、**15か国からなる「ECOWAS（西アフリカ諸国経済共同体）」と8か国からなる「UEMOA（西アフリカ経済通貨同盟）」**という組織があります。UEMOAは歴史が古く、また域内で共通の通貨「セーファフラン（XOF）」および言語（フランス語）を使用しているため、ECOWASと比較して同盟が上手く機能しているといわれています。一方で、今後の西アフリカの発展のため、UEMOAよりも規模の大きいECOWASに寄せられる期待は大きいものとなっており、この2つの組織がいかに上手く連携していけるかが、今後の西アフリカの成長の大きなカギを握っています。

ECOWASの中心国はナイジェリア、コートジボワール、ガーナ、セネガルと言われていますが、その中でUEMOAにも所属しているのはコートジボワールとセネガルです。この2国がECOWASとUEMOAのハブとなる重要な役割を担っています。

セネガルの首都ダカールには、UEMOA域内の共通通貨を発行する西アフリカ諸国中央銀行の本部があります。コートジボワールにて2002年、2010年と内戦が起きた事もあり、**アフリカ随一の安定した治安の良さを誇るセネガル**に、より一層の期待が集まっています。

また、治安の良さに加え、欧州からのアクセスやビジネス環境が良いことから、**ダカールには国際的な組織やグローバルカンパニーの仏語圏アフリカの主要拠点**が置かれています。

主食は米、安全、人が親切ー日本人にハードルの低い国セネガル



セネガルの代表料理
チェブ・ジェン

セネガルの主食は、日本と同じくお米です。セネガル産はもちろんですが、タイ米をはじめ海外のお米も売られています。また、旧フランス領のためパンもとてもおいしいです。朝晩はパンなどで軽く済まし、昼はしっかりとご飯の料理を食べる、といった家庭が多いようです。

治安の良さも折り紙付きで、独立以来大きな紛争などがほとんど起こっておらず、アフリカ随一の治安の良さを誇ります。実際に住んでいても、夜に町を歩いていても危ないと思う事はありません。背景として、**宗教対立が起きにくい**国である事が挙げられます。**国民の9割以上がイスラム教徒**で、それにキリスト教徒が続くのですが、まずイスラム教の信仰度合いが比較的緩いです。女性は肌の露出の多い洋服を着ていますし、一部お酒を飲む人もいます。また、イスラム教徒でも教育のためにキリスト教徒の学校に通ったりする事もあることから、イスラム教徒とキリスト教徒の仲も良いのです。





そして、何より**人がとても親切**です。セネガルでは、**困った時は当然のように皆で助け合う「テランガ」の文化**が根付いており、セネガル人もそれをとても誇りに思っています。私が生活していてセネガルの一番良い所だと感じるのは、この「助け合いの文化」です。例えば、セネガルのバスは日本の満員電車のように混雑するのですが、お年寄りや荷物の多い人には**席を譲ったり**、座っている人が**立っている人の荷物を膝の上に置いて持っていてあげたり**、という事が当たり前に行われています。

ビジネスのラストフロンティアと呼ばれるアフリカ。中でも特に参入余地・ポテンシャルの大きい西アフリカ。西アフリカの拠点として有望で日本人にもハードルの低い国セネガル。アフリカ進出をお考えの読者の皆様には、ぜひいちどセネガルに足を運ぶ事をお勧めいたします。きっとアフリカへのイメージがガラリと変わりますよ。

本日は以上です。最後までご覧いただきありがとうございました。少しでも西アフリカを身近に感じていただけましたら誠に幸いです。

執筆者



山田 一雅 アフリカ商会 代表

<http://africa-shokai.jimdo.com/>

セネガルの首都ダカール在住。日本企業のアフリカビジネス支援（市場調査、営業代行、展示会出展代行、法人設立、視察アテンドなど）や、個人向けにホームステイ先や格安フランス語留学の紹介を行っている。趣味は野球。千葉県出身。

【連絡先】 africa.shokai@gmail.com

